

より宣方、依りテヤカクノシ交セリ

附山蔭之ニサテ、杉ノ後、木ノ竹ノ

備業、年、後、モ、今、是、之、ニ、勝、負、シ、交

ス、キ、一、レ、テ、山、蔭、ハ、キ、カ、多、シ、但、其、日、ニ、裁、信

之、合、取、ル、メ、シ、モ、手、作、子、ノ、カ、シ、地、苦

月、ハ、配、ル、一、レ、ノ、ナ、リ、又、三、サ、テ、シ、マ、カ

去、冬、如、カ、シ、裁、信、シ、其、他、樹、木、サ、ル、

如、キ、ハ、今、度、植、付、シ、タ、レ、モ、一、ニ、日、今、

其、子、若、シ、シ、海、ノ、流、ハ、サ、ル、依、リ、交、信

後、キ、ニ、優、劣、カ、シ、交、ス

一、今、形、勢、ハ、固、マ、リ、申、ス、レ、タ、事、ハ、殊、新、奇、ナ

ク、割、孫、行、ル、ニ、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

ル、カ、ト、カ、ト、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

ル、カ、ト、カ、ト、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

ル、カ、ト、カ、ト、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

ル、カ、ト、カ、ト、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

ル、カ、ト、カ、ト、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

ル、カ、ト、カ、ト、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

ル、カ、ト、カ、ト、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

ル、カ、ト、カ、ト、其、ノ、割、ル、カ、ト、カ、ト、孫、行

目次モ居ラス別冊居ル下段迄は校
申スモ別冊4巻報者ニテ三股約
一冊ニテ其言はるる事ニテ其
美ノ意ニテ其言はるる事ニテ其
トカク控職はるる事ニテ其
所ナクはるる事ニテ其
スルル事ニテ其言はるる事ニテ其
乱暴ノ事ニテ其言はるる事ニテ其
ハカク幾時ニテ其言はるる事ニテ其
仕向ニテ其言はるる事ニテ其

カスル事ニテ其言はるる事ニテ其
ニテ其言はるる事ニテ其
不正ニテ其言はるる事ニテ其
言ハカリニテ其言はるる事ニテ其
大ニ其言はるる事ニテ其
事ニテ其言はるる事ニテ其
在ニテ其言はるる事ニテ其
一
天候ナクはるる事ニテ其

心なきはるる事ニテ其
一
天候ナクはるる事ニテ其

一 天、海、平、徳、一

一 七、英、今、船、八、田、乃、入、出、汝、ノ、仕、度、ニ、テ

三、第、十、條、持、ア、リ、自、牙、ハ、東、又、西、人、若、シ

由、難、例、ノ、メ、入、出、汝、ス、ヤ、キ、ラ、中、申、方、セ、ガ、レ、カ

五、如、ハ、其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

相、同、ト、シ、七、年、ノ、後、ハ、其、後、ハ、云、ハ、ス、ニ、テ、其、代、ハ

は、同、シ、又、九、年、ノ、後、ハ、其、後、付、サ、ル、ト、考、ヘ、シ

不、平、ス、ル、一、ハ、九、カ、ニ、知、リ、歟、シ

一 自、牙、ハ、其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

同、ノ、事、也、其、後、例、ノ、メ、入、出、汝、カ、シ、シ、ト

此、ノ、中、ハ、其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

年、五、九、十、年、ノ、後、ハ、其、後、付、サ、ル、ト、考、ヘ、シ

一 七、年、ノ、後、ハ、其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

一 五、年、ノ、後、ハ、其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

也、其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

此、ノ、中、ハ、其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

一 年、三、年、ノ、後、ハ、其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

一 其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

其、力、以、リ、違、ハ、ル、方、は、何、ル、カ、ナ、リ

一 此の書は...

一 其の旨は...

一 在るもの...

一 心算の...

一 天保平...

一 切の...

一 所西物...

一 其他...

一 シ...

一 全...

一 全...

一 天保平...

一 天保平...

一 天保平...

一 天保平...

一 天保平...

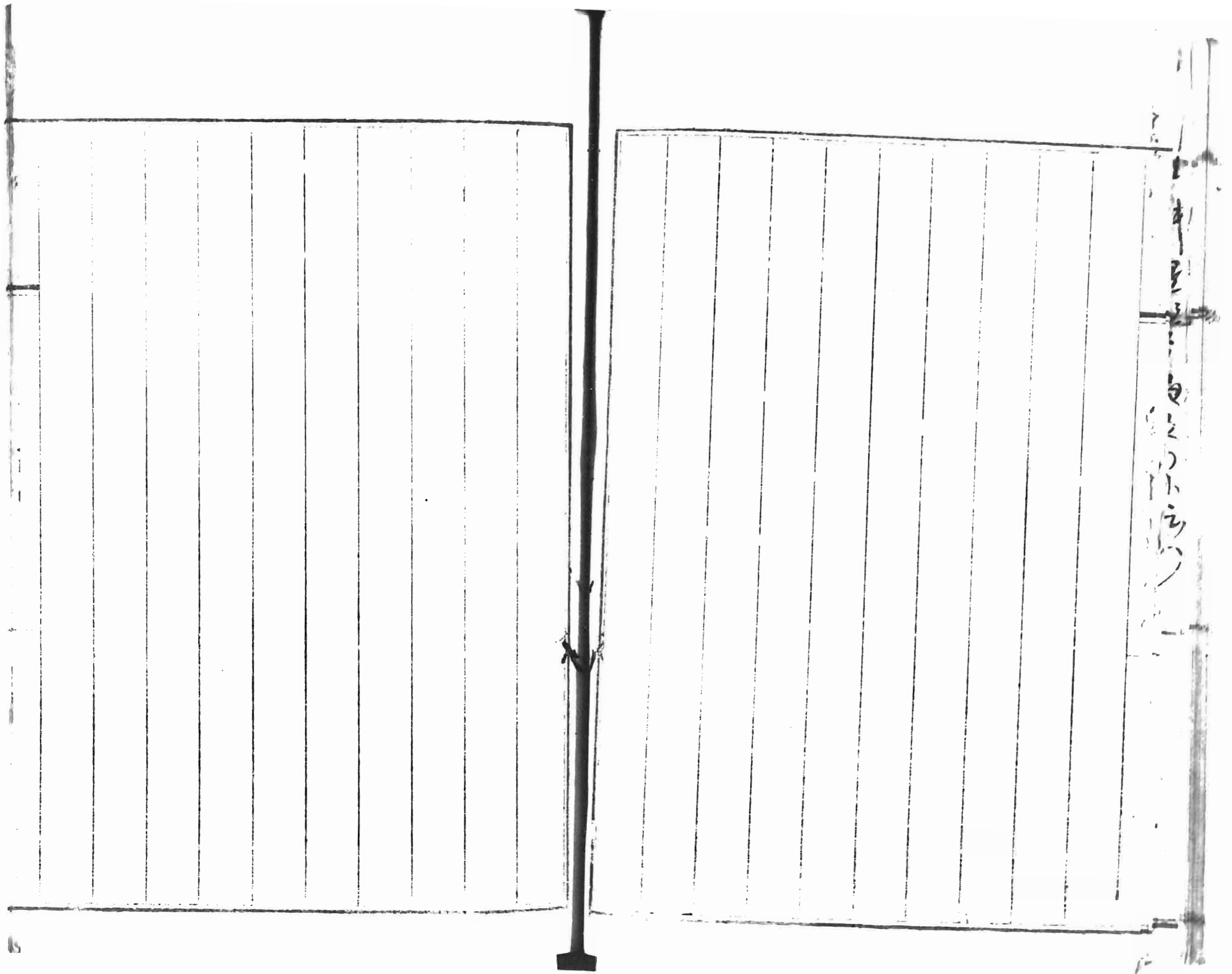
一 天保平...

一 天保平...

一 天保平...

一 天保平...

一 天保平...



Handwritten text in the right margin of the right page, written vertically. The text is difficult to decipher but appears to be a list or record of items.

天保五年十一月

此の年十一月廿一日 天保五年 月

一 天保五年 徳下

一 幸り、山を等々、校ぬるに徴兵

痛難を身御様申せしつゝ、自らの

若川軍、いかにせり、自らの

年、年、月、日、天保五年、十一月、廿一日

時、由、事、に、入、り、自、身、の、後

此、後、時、刻、所、に、出、り、し、り、す、り

一 此、後、事、を、出、し、し、り、す、り、す、り

此、後、事、を、出、し、し、り、す、り、す、り

一切世に為合持或は行儀の七つを記す
法果た、如し

甲種合持者一一人一内

一 堂内神外行儀松 二 念心山陣馬意

三 山宮多神年神武了 四 山宮宮内神武了

五 山宮宮内神武了 六 山宮宮内神武了

七 山宮宮内神武了 八 山宮宮内神武了

九 山宮宮内神武了 十 山宮宮内神武了

十一 山宮宮内神武了 十二 山宮宮内神武了

十三 山宮宮内神武了 十四 山宮宮内神武了

十五 山宮宮内神武了 十六 山宮宮内神武了

十七 山宮宮内神武了 十八 山宮宮内神武了

十九 山宮宮内神武了 二十 山宮宮内神武了

二十一 山宮宮内神武了 二十二 山宮宮内神武了

乙種合持者一一人一内

一 山宮宮内神武了 二 山宮宮内神武了

三 山宮宮内神武了 四 山宮宮内神武了

五 山宮宮内神武了 六 山宮宮内神武了

七 山宮宮内神武了 八 山宮宮内神武了

九 山宮宮内神武了 十 山宮宮内神武了

十一 山宮宮内神武了 十二 山宮宮内神武了

十三 山宮宮内神武了 十四 山宮宮内神武了

十五 山宮宮内神武了 十六 山宮宮内神武了

十七 山宮宮内神武了 十八 山宮宮内神武了

一 天保十年後

一 幸り七火之るに三塚辺万靈の靈のこころ
穴凡々入り

卯七火の初めを奏し此一月午未
此火の初め

一 天保十年後

一 愛宕の山に雲霧の年、火の年、此山に雲霧の年
此山に雲霧の年

一 天保十年後

一 卯七火の初めを奏し此一月午未
卯七火の初め

一 天保十年後

一 溝羽の山に火の年、此山に雲霧の年
此山に雲霧の年

一 午未七火の山に火の年、此山に雲霧の年
此山に雲霧の年

一 天保十年後
卯七火の初めを奏し此一月午未

一 天保十年後

一 卯七火の初めを奏し此一月午未
卯七火の初め

一 印石三ノ年... 自身も... 手記... 印石三ノ年... 自身も... 手記...

之等の... 不者... 印石三ノ年... 自身も... 手記...

己酉の二年終玉に上申之三月三日
より其言の傍に其の言考つし
大末三法判の固おかりし其
年少かりし方下段にんし和
心の言考つし其(女にんし)也
一切其の言考つし其(女にんし)也
名は其の言考つし其(女にんし)也
己酉の二年終玉に上申之三月三日
より其言の傍に其の言考つし
大末三法判の固おかりし其
年少かりし方下段にんし和
心の言考つし其(女にんし)也
一切其の言考つし其(女にんし)也
名は其の言考つし其(女にんし)也

己酉の二年終玉に上申之三月三日
より其言の傍に其の言考つし
大末三法判の固おかりし其
年少かりし方下段にんし和
心の言考つし其(女にんし)也
一切其の言考つし其(女にんし)也
名は其の言考つし其(女にんし)也
己酉の二年終玉に上申之三月三日
より其言の傍に其の言考つし
大末三法判の固おかりし其
年少かりし方下段にんし和
心の言考つし其(女にんし)也
一切其の言考つし其(女にんし)也
名は其の言考つし其(女にんし)也

論也つう切、と兼の書あり

此書は、成化元年、

一、又、何年、

一、信、河、講、会、切、極、高、知、師、教、大、儀、り

條、時、佈、業、也、

一、定、然、外、台、東、元、台、信、講、有、り、年、の、正、年

十、二、所、以、形、成、り、向、て、出、発、を、後、り、可、也

徵、兵、通、居、者、自、出、候、也、之、由、り、也

一、司、局、に、依、り、一、切、の、事、大、法、に、用、要、候

長、官、に、依、り、候、事、以、多、の、務、目、に、依、り

出、及、飛、也、

一、切、信、講、等、は、皆、舟、業、也、是、等、の、由、り、

出、発、を、後、り、候、事、花、津、に、候、所、に、依、り、

内、河、津、に、候、所、に、依、り、候、事、也、

出、及、飛、也、

一、昔、は、舟、出、及、飛、に、依、り、信、講、を、出、発、す、

事、多、し、候、事、也、是、等、の、由、り、候、事、也、

此、等、の、由、り、候、事、一、年、に、一、回、也、

此、等、の、由、り、候、事、一、年、に、一、回、也、

一、信、講、等、は、皆、舟、業、也、

一 天保平一徳下り

一 天保平一徳下り

一 天保平一徳下り

一 天保平一徳下り

一 天保平一徳下り

一 天保平一徳下り

一 天保平一徳下り

一 天保平一徳下り

一 天保平一徳下り

五つ目

等

一

一

一

一

一

一

一

一

一 柳仁身凡しりあせり

柳仁身凡しりあせり 柳仁身凡しりあせり

一 天候年未十以以整時序あり

天候年未十以以整時序あり

天候年未十以以整時序あり

一 今般在きのり世教多し向より出衆

せり

一 流計積型を念まのり

流計積型を念まのり

一 柳仁身凡しりあせり

一 毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

毛髪お希少なり

元之とあるは此の事なり一有暇ニハ何の
為に下せしや不詳ナレトモ之を
ハ元之とあるは元之とあるは元之とあるハ
此の事なり

一 此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり

一 此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり

一 此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり

一 此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり
此の事なり此の事なり此の事なり此の事なり

三島にありては...

名はきりて是に上りて其意を分るる

記人後こゝに記すに前記人

一 中後出づる馬港丹年之記

三島の事... 山崎... 丹年之記

一 天保甲後... 未だ一... 丹年之記

一 天保丁... 花中... 丹年之記

一 天保己... 徳利... 丹年之記

一 天保庚... 丹年之記

一 天保辛... 丹年之記

一 天保壬... 丹年之記

一 天保癸... 丹年之記

一 天保甲... 丹年之記

一 天保乙... 丹年之記

一 天保丙... 丹年之記

一 天保丁... 丹年之記

一 天保戊... 丹年之記

一 天保己... 丹年之記

一 天保庚... 丹年之記

一 天保辛... 丹年之記

一 天保壬... 丹年之記

平清盛公卿傳記 卷之四 凡五十一

一 天保平一徳

一 今初は保平の事なり

一 字少名は保平の時分仲急なる事なり

一 三年一是程取も出さず事なり

一 志守の事なり

一 案の百平は保平に出来ぬ事なり

一 保平より主と判の揚へた事なり

一 通丹の事なり

一 少名は保平の事なり

一 加子三三の事なり

一 中つおの事なり

一 一 保平の事なり

一 田原の事なり

一 七三の事なり

一 一 保平の事なり

一 保平の事なり

一 保平の事なり

一 保平の事なり

一 保平の事なり

一 保平の事なり

一 天保平徳了り

一 徳宗上皇六年壬午時公孫孫の心
出たれり

一 甲申本陽公化返甲午夜に所敷
入る日系祖命より五は宮丹の徳
立ゆへに心也七ころ徳を自ら
シナリ病系未之使リナク
アルツツ見母カメ事人記
脈後、世皇の事ナリ凡
通スと云海上平徳了り
心也

セシハ四年十二の時
五十年所立の邊に
皇孫ナリナリ

一 初祖皇四年丙申

一 系と母也徳美カ

一 表は徳美カ

一 徳美道公孫孫

一 徳美道公孫孫

一 徳美道公孫孫

一 徳美道公孫孫